

# 日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2016年  
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 2月18日発行

## あらゆるつながりに声かけビキニデーへ！

青森(2月16日既報)に続き、群馬、三重、香川が2月29日の日本原水協全国集会への派遣目標を超えました。

### 事務局長のつながりで参加が増えるー三重県原水協

三重県原水協は、目標の6人を超える9人の代表団が参加することになっています。



NPT・ニューヨーク行動に参加する田中事務局長  
(右端)

田中茂二郎事務局長は「三商連の事務局長と婦人部の方の2人が申し込んできた。確定申告の真最中なのでビックリした」と話します。

「原水協と平和委員会は新婦人に支えられている」という田中事務局長は、日頃から新婦人に全面協力し、3・8 国際婦人デーの実行委員会にも男性で唯一参加しています。三商連婦人部の方とも3・8実委で知り合う中で原水協集会への参加を決意。一人ではということで事務局長と一緒に参加してくれることになりました。

また、「青年は平和運動を片時も手放してはいけない」と伝えてきたことで民青同盟の代表や、最近まで民青三重県委員長を務めていた参院選候補者の方も参加することになっています。

### 平和運動などの後継者づくりも視野に入れー群馬県原水協

群馬県原水協は現在、目標の10人を超える13人まで確認。新婦人2人、退職教員1人、県平和委1人、地域からは安中原水協、館林平和委、伊勢崎平和委各1人。民医連関係は群馬保健企画、群馬中央医療生協労組各1人。初めて日朝友好協会から1人代表が派遣されます。

古沢孝一事務局長は「送り出す側の民医連、新婦人、平和委などは、ビキニデーを通じて、『戦争法』廃止や核兵器廃絶へのとりくみや、何よりも運動(平和・それぞれの組織課題)の後継者をひろげたい思いも重なっている」と語ります。さらに1人でも増やしてバスで参加しようと事務局会議で協議しています。